

京都の都市計画入門

平成18年10月14日

ARPA・K

株式会社 地域計画建築研究所

松本 明

3つの話題

京都の都市計画の歴史

- 明治25年~現在の地図を見ながら -

「都市計画」とは

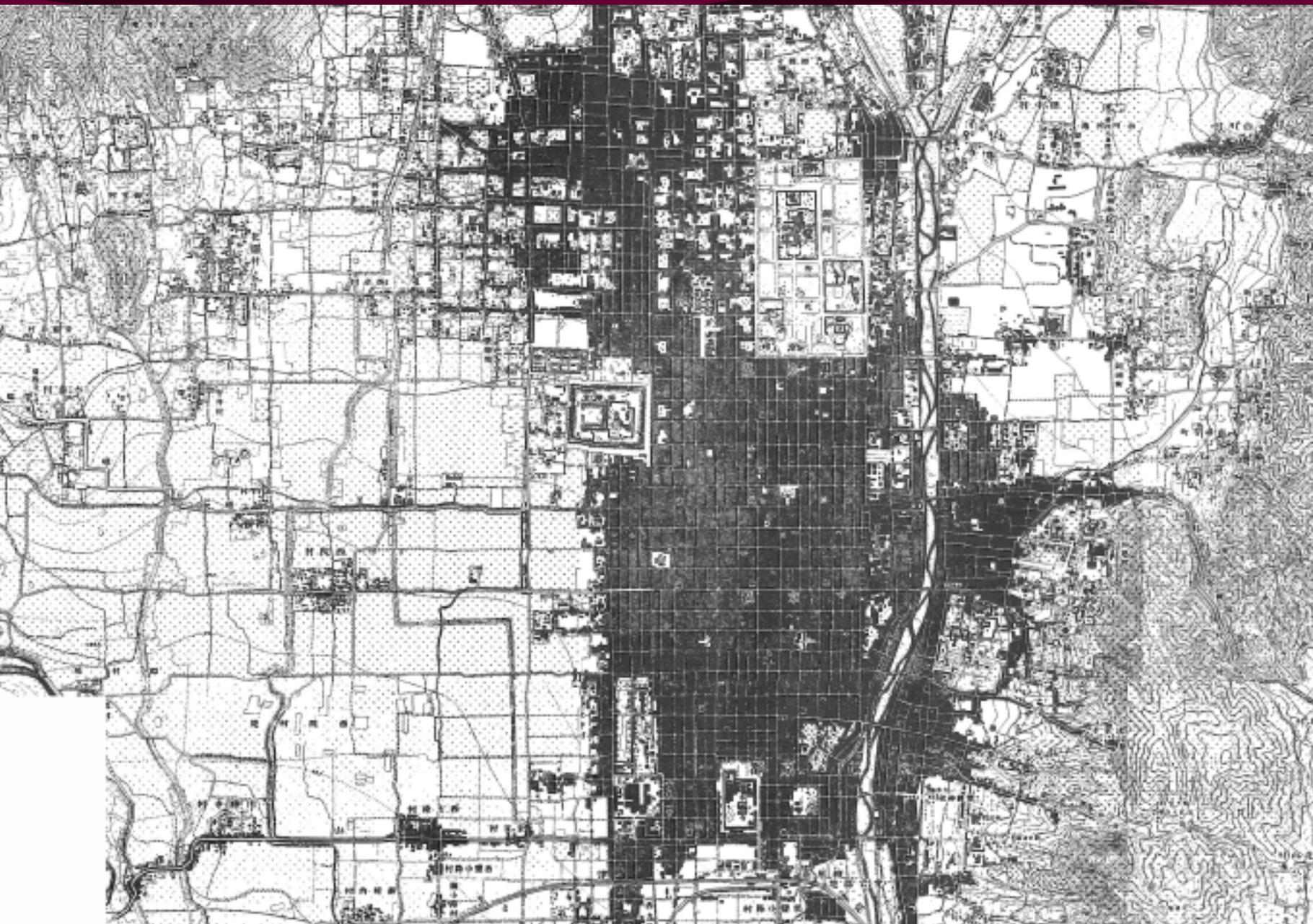
- 京都にはこれだけ沢山の都市計画が -

都市計画の現在とこれから

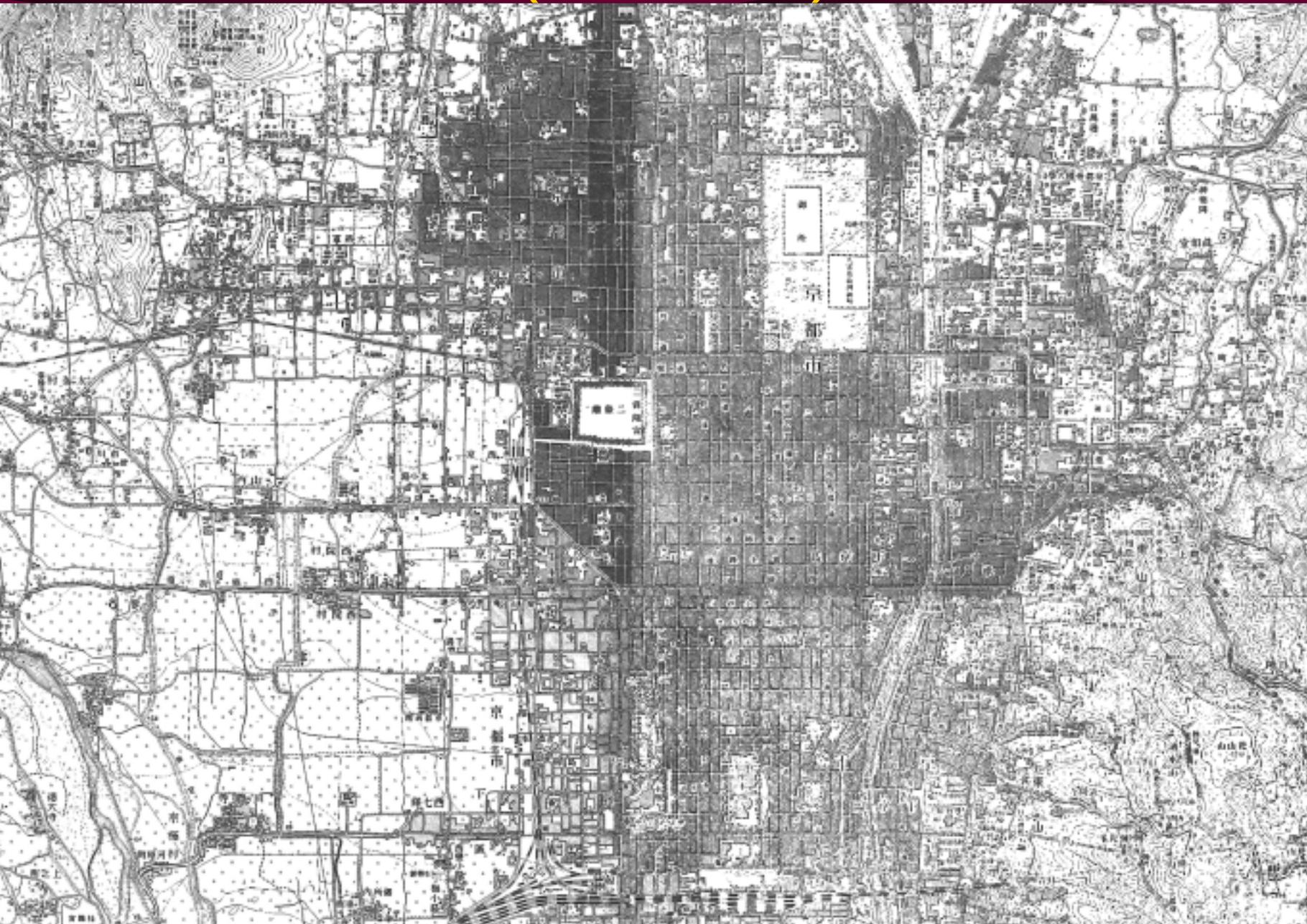
- 景観をめぐる問題 -

- 市民が取り組む「まちづくり」 -

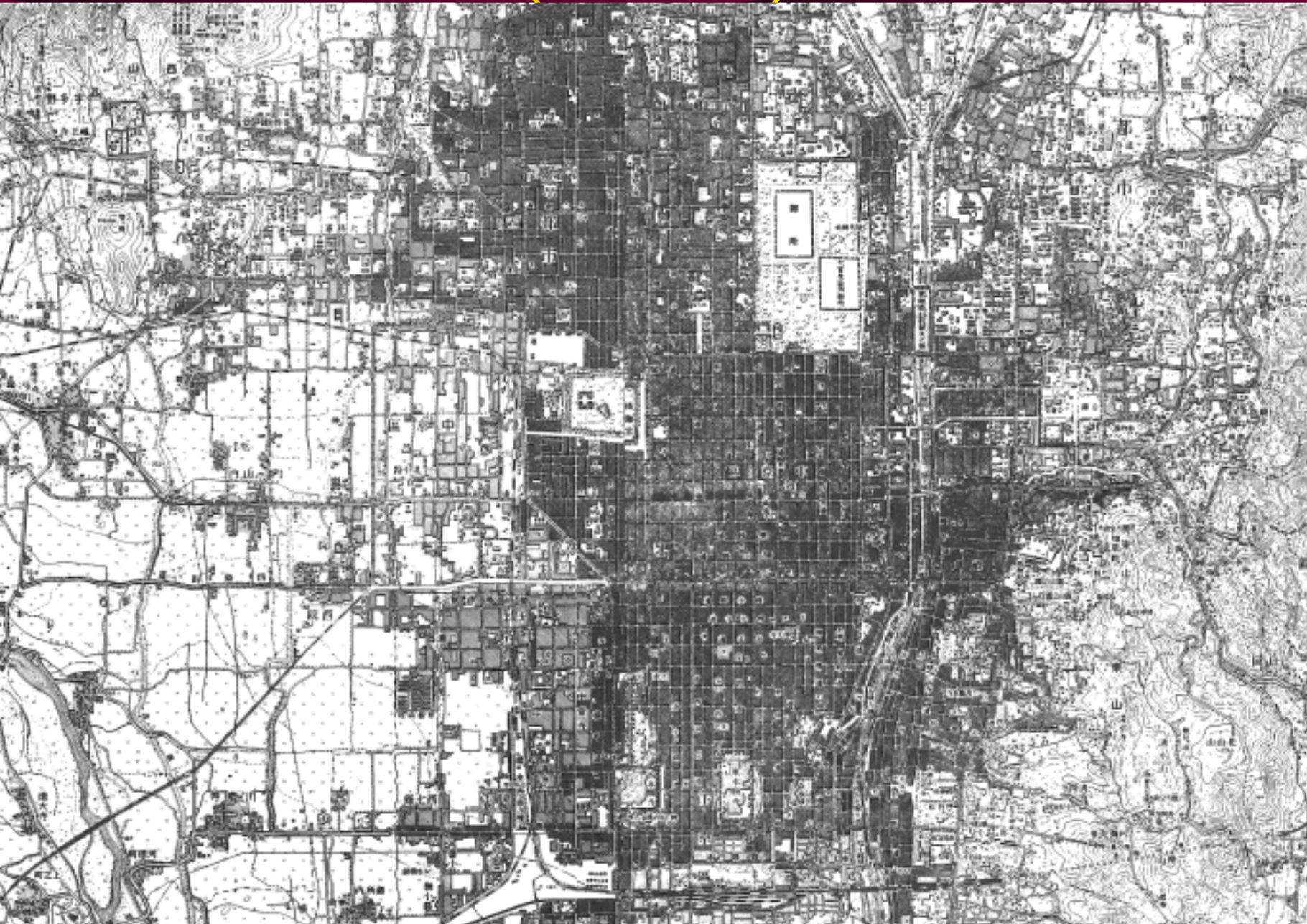
-1 1889 (明治22)年の京都



-2 1922(大正11)年の京都



-3 1931 (昭和6)年の京都



-4 1961 (昭和36)年の京都



-5 現在の京都



-6 地図の変遷から

-明治以降「都市計画」で実現されたもの-

「京都策」 琵琶湖疏水(M23完成)(北垣知事)

「三大事業」(M41)(西郷市長)

第二疏水、上水道整備、道路拡張(市電敷設)

市街地拡大のための外周線沿いの土地区画整理事業
(昭和初期以降)

鉄道(国鉄、私鉄)

初めての都市計画「用途地域指定」(T13)

戦時建物疎開と道路拡幅

ニュータウン開発(洛西ニュータウン、向島ニュータウン)

-1 今日の「都市計画」とは

国や都道府県の
広域的な計画

(広義)

事業者による
まとまった
開発計画等

(狭義)
都市計画法に基づく
都市計画

住民の任意の
まちづくり計画

市の条例や
他の法令に基づく
京都市の計画

-2 都市計画制度の概要

- 京都市で適用されている都市計画 -

区域区分(「線引き」)

地域地区(用途地域、防火地域、高度地区、
美観地区、風致地区、……)

都市施設(道路、公園、下水道、鉄道、…)

市街地開発事業(区画整理、再開発…)

地区計画

開発許可

-3 ゾーニングシステムの問題

- だが、どこまできめ細かく「決める」のか -

1 都市全体の基本方向を定める

2 地域ごとの将来目標を設定する

3 まとまりのある区域を設定する

4 区域ごとの建築や開発の規制・誘導を行う

5 結果として目標が達成される ハズ! ?

-1 都市計画の新たな課題

- 人口減少社会に向けた方向転換 -

コンパクトシティ

- ・人口減少（次頁参考）
- ・都市の「縮退」 空地増加、「山に戻す」
- ・中心市街地の活性化 大型店立地規制

フロー重視からストック重視

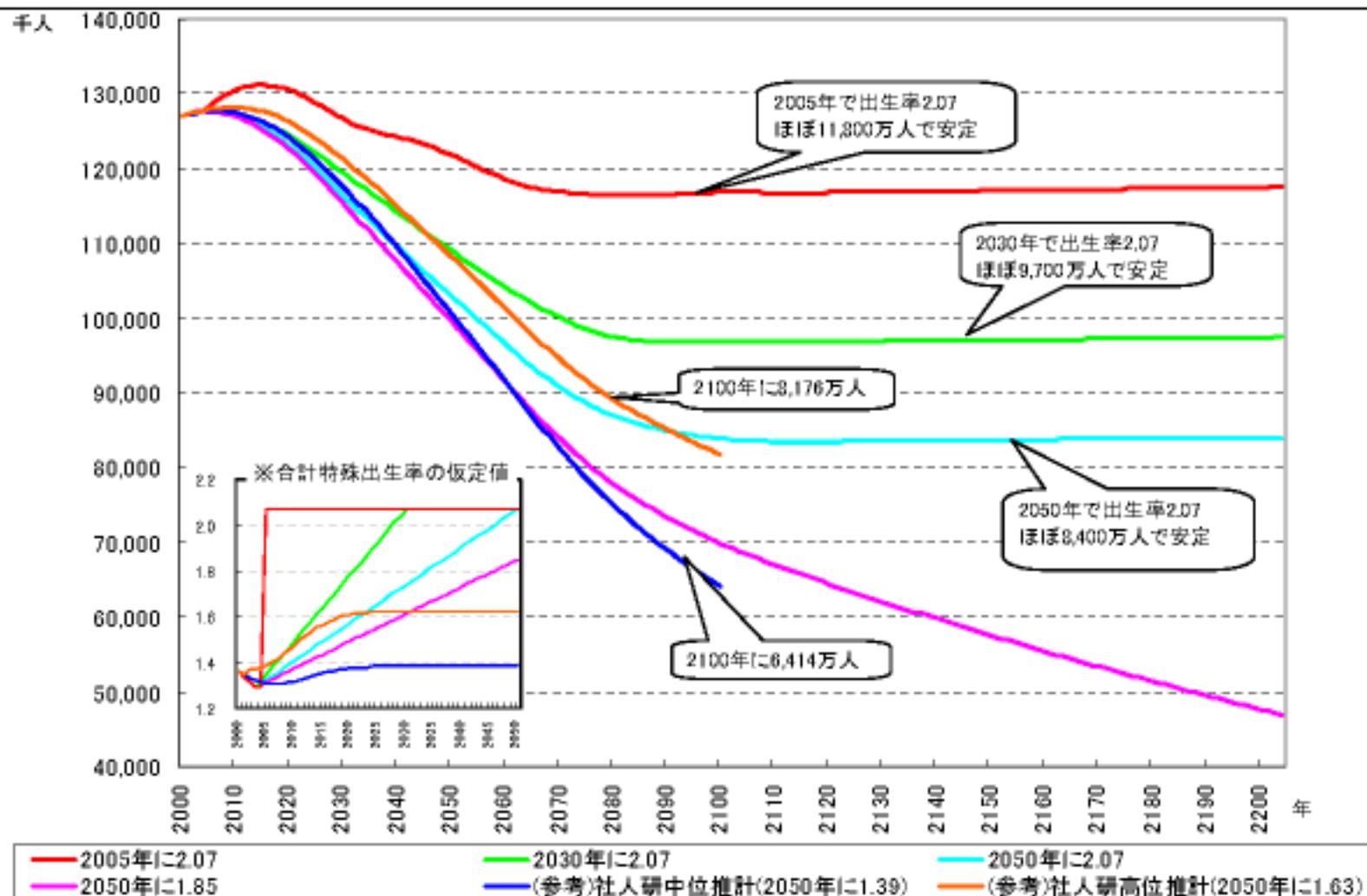
- ・歴史資源の活用 町家再生
- ・ストックマネジメント ニュータウン再生

市民参画

- ・「まちづくり」のひろがり 反対型、独立型、参画型
- ・都市ビジョンへづくりへの市民参画 各種プラン

1. 合計特殊出生率の仮定の違いによる人口の推移(試算値)

2050年に出生率が人口置換水準である2.07になると仮定した場合、日本の総人口はほぼ8,400万人で安定的に推移する。



元国立社会保障・人口問題研究所 加藤久和氏(現明治大学政治経済学部助教授)作成の人口推計プログラムをもとに国土交通省国土計画局作成。

なお加藤氏のプログラムに、直近に公表された合計特殊出生率、人口等のデータを反映させている。

-2 京都のホット・トピック

- 新しい景観規制・誘導へ -

景観法 (H16.6公布、H17.6全面施行)

都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、良好な景観の形成に関する基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定、景観計画区域、景観地区等における良好な景観の形成のための規制、景観整備機構による支援等所要の措置を講ずる我が国で初めての景観についての総合的な法律

「時を超え光輝く京都の景観づくり審議会」 の「中間とりまとめ」(平成18年3月)

建物の高さやデザインの更なる規制・誘導

- ・高さ規制の強化 / デザイン基準の明確化 / 許可制 / 地域の特性に応じたきめ細やかな規制・誘導 等

京町家などの歴史的な建造物の保全とそれを活用した都市景観形成

- ・点から線、線から面へ / 京まちやまちづくりファンド 等

看板など屋外広告物、駐車駐輪対策の強化

緑の保全及び緑化の推進

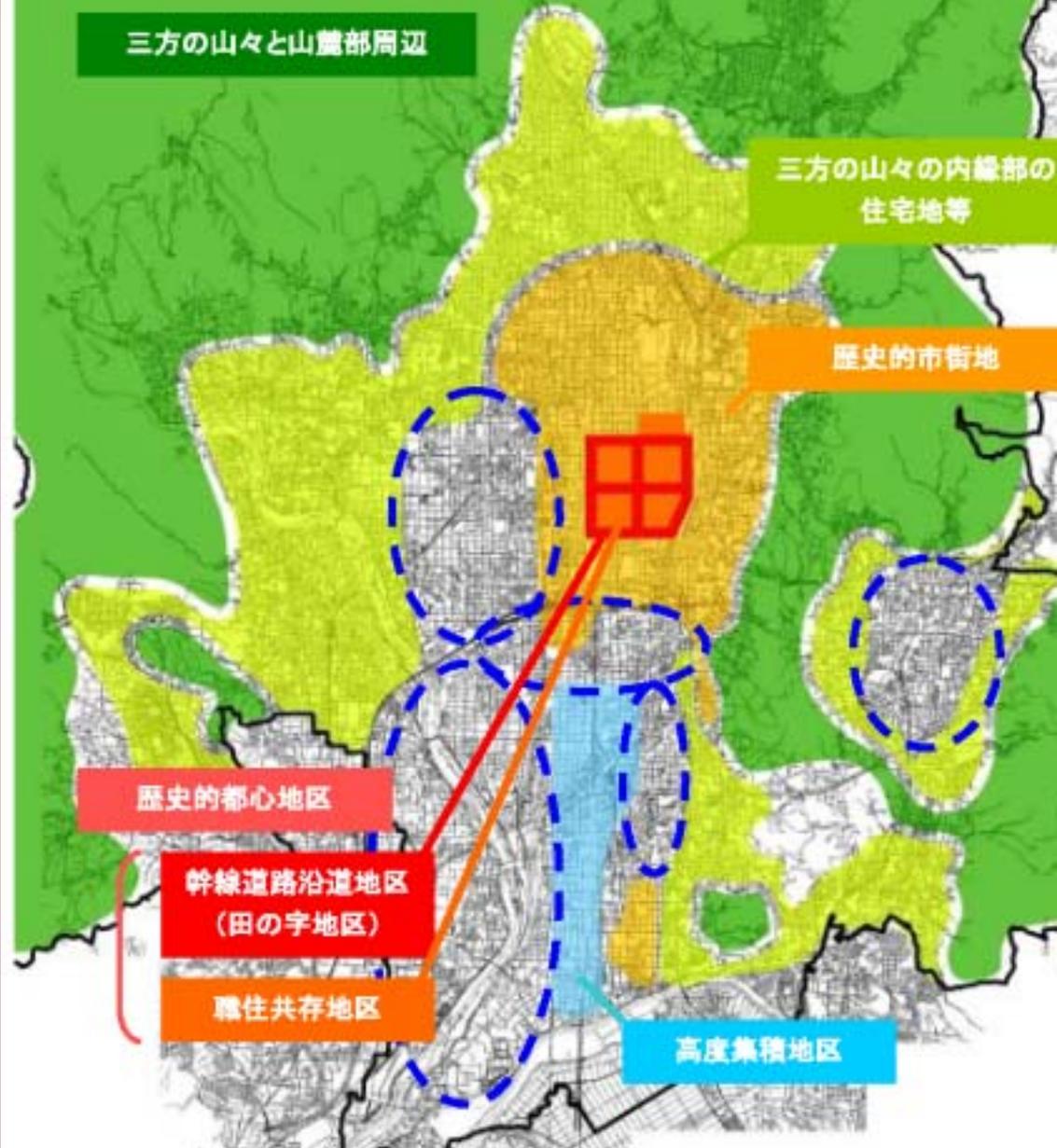
その他

時を超え光輝く京都の 景観づくり審議会「中間と りまとめ」付図

景観重要建造物



地域別の規制・誘導に関する地域区分



-3 市民のまちづくり

- 多様な取り組み -

「職住共存地区」「田の字」

姉小路界わい / 三条通 / まちなかを歩く日 / 明倫学区 / 本能学区 / 有隣学区 / 四条繁栄会 等々

上京

町家倶楽部 / 西陣まちづくり委員会 / 鉾参通 / 今電
会 / 春日学区福祉のまちづくり / 京極探偵団 etc

伏見

祇園町南側

洛西ニュータウン

西陣わっしょい - 西陣まちづくり委員会

「西陣わっしょい」 歩みとこれから

「西陣わっしょい」って何？

西陣わっしょいは、元西陣小学校を主な舞台とした、学区民手作りのまちおこしイベントです。平成9年4月に第1回が開催されてから、すでに7目を数え、多彩なイベントが繰り広げられてきました。この西陣わっしょい誕生のいきさつとねらいは……。

（西陣小学校の歴史）

西陣学区の人口は、平成7年には約2,800人で、昭和30年代のピーク時約4,800人の6割に減少しています。児童も減り、125年の歴史を持つ西陣小学校は平成7年3月に桃屋小学校と統合となりました。その後元桃屋小学校跡地に新校舎が完成、平成9年4月に成造小学校、聚落小学校とあわせて西陣中央小学校が新たに誕生しました。

（手作りの「ソフト」が大切）

元西陣校は、学区民が育った学び舎としての役割を終えました。しかし、住民福祉協議会をはじめとする各種団体のメンバーの間では、「地域のシンボルとしての役割を何とか継続したい」「学校施設を活用して地域の活性化を進めたい」との思いが湧きました。折しも、市内各所の小学校統合跡地に新しい施設建設が話題となっていました。西陣学区では、「ハード先行でなく、人と人とのふれあい、ソフトが大切」の観点から、元西陣校を舞台とした手づくりイベント「西陣わっしょい」がスタートしたのです。

（「わっしょい」＝「囃っしょい」、「舞っしょい」）

他にはない、西陣学区らしい取り組みにしたいということで個性的な名前が考えられました。「囃っしょい」「初っしょい」など、学区民みんなが輪になって担ぐまちづくりのお神楽ともいえるイベントを目指しています。

（特長その1—学区民手作り）

企画から準備、当日の運営まで文字どおり学区民の手作りです。各種団体はもとより、西陣に移り住んできた若い世代も参加しています。学生ボランティアも頼もしい味方です。

（特長その2—まちの活性化につなげる）

西陣線や商店など、地域のお商売の活性化を積極的に考えます。人が集まり、商売に役立てば、また新しい地域おこしのアイデアにもつながっていきます。

（特長その3—学区にとしこもらず、外との交流記目を向ける）

わっしょいは、学区内だけに止まらない、各地の多様な取り組みとの交流の場でもあります。新しい出会いが新しいネットワークとなって、学区のまちづくりの財源にもなっていきます。

こうした視点を踏まえ、過去7回、工夫を凝らした個性的な取り組みを進めてきました。

第1回 西陣・わっしょい

鈍差し勇ましく、わっしょい始動。

西陣活性化の願いを込め、伝統行事の復活など、盛り沢山でスタート。

日 程：平成9年4月13日（日）
場 所：元西陣小学校

【主な催しなど】

- 「菓餅」の復活
 - ・かつての西陣の伝統行事、「鈍差し」を復活させ、地域のシンボルに。
- 西陣ブランドの新商品の開発・販売
 - ・西陣ブランドの清酒とワイン「絹の輝き」の販売
 - ・「お玉さんのお守り」、「玉の典」の起源は西陣にあった！？
- あぐい商店街参加による出店
 - ・地域活性化へ、みんなで汗を流そう。
- サークルの出し物
 - ・音楽など、楽しい催しものもいっぱい。
- 各種団体による模擬店



子ども博物館がやってきた。

いろんな出会いを大切にすると、新しいネットワークが人々を呼び込む。

日 程	平成9年9月14(日)～15日(月)
場 所	元西陣小学校

【主な催しなど】

- 京都子ども博物館（京都子ども博物館を広げる会）
 - ・子どもたちが、五感で感じ、体験できる手作りの博物館。見ているだけじゃつまらない、やってみなきゃわからない。「遊び」と「学び」が浑然一体。
- モンゴル展（京都堀川ライオンズクラブ、ポストンチルドレンズミュージアム・モンゴル博物館）
 - ・モンゴルの暮らしと文化。知らない世界を知ることは楽しい。
- 町家市
 - ・西陣ブランド商品も多彩。1坪店舗「町家市」の開催。
- まちづくり調査隊アンケート（立命館大学乾ゼミ、石見ゼミ学生）
 - ・学区まちづくりの頼もしいパートナー、学生さんたちによる聞き取り調査。みんな真剣。答える方にも熱が入る。
- 各種出し物（大学サークルや一般サークル等）
 - ・クラシックギター、などなど、この日は文化を楽しむ日でもあります。
- 各種団体による模擬店



盛り沢山の企画。堀川の水が復活？！

本当にたくさんのイベント。小雨の中、2000人もの参加。

日 程	平成10年5月23日(日)
場 所	元西陣小学校、堀川通、学区全体

【主な催しなど】

- 《西陣わっしょいイベント》
- 西陣のまちを花いっぱい
 - ・京都市美化推進条例に基づく「まち美化住民協定」を締結、その一環として、花いっぱいのまちづくりに取り組む。
- フリーマーケット
 - ・学区内外の若者たちの独自企画。50組の出店。物のみならず、人の出会いの場。
- 西陣観光スポットのスタンプラリー
 - ・西陣の今後の観光開発をにらんで、学区内の観光元や工房等の見学ルートをつくり、学生さんのガイドで、街並み探訪。
- 各種団体による模擬店
- 《関連企画》
- 堀川に水を流すイベント
 - ・堀川に流れを復活させる取り組みの一環。中央分断帯に仮設された水の流れは、後のうるおいあるまちづくりへの一歩。
 - ・関連して、JCによる堀川の今昔パネル展、堀川の歴史を学ぶ、「堀川の水とまちづくり」の講演等を開催。
- 大宮商店街の大売出し
 - ・観光スポットスタンプラリーとも連携して、商業活性化の取り組み。





第5回 西陣・わっしょい 「西陣織工房のまち・仕事展」

西陣織の全工程を再現する。

西陣学区だけでも、まだまだ多くの工程が引き継がれている。観覧さんが一堂に会して

日 程：平成11年5月23日（日）
場 所：元西陣小学校

【主な催しなど】

○西陣学区の仕事展—各工程を「みち」と「いえ」になぞらえて紹介

- ・「糸のみち」—蚕の家/生糸の家・搦糸の家/金銀糸・箔の家/糸染めの家
- ・「デザインのみち」—製菓の家/絞図・絞彫の家
- ・「機ごしらえのみち」—総柄(せにが)の家/整経・糸織りの家
- ・「織のみち」—織の家
- ・「伝統のみち」—西陣博物館
- ・体験・実演—体験ミニ手織/留袖実演/手織実演

○陶芸、絵画、写真作品展

○西陣関連商品の販売

○各種団体による模擬店

第4回 西陣・わっしょい 「盆踊りと大文字鑑賞の夕べ」

夏だ！ 盆踊り。

学区住民の交流といこいのひととき。

日 程：平成10年8月16日（日）
場 所：元西陣小学校

【主な催しなど】

盆踊り

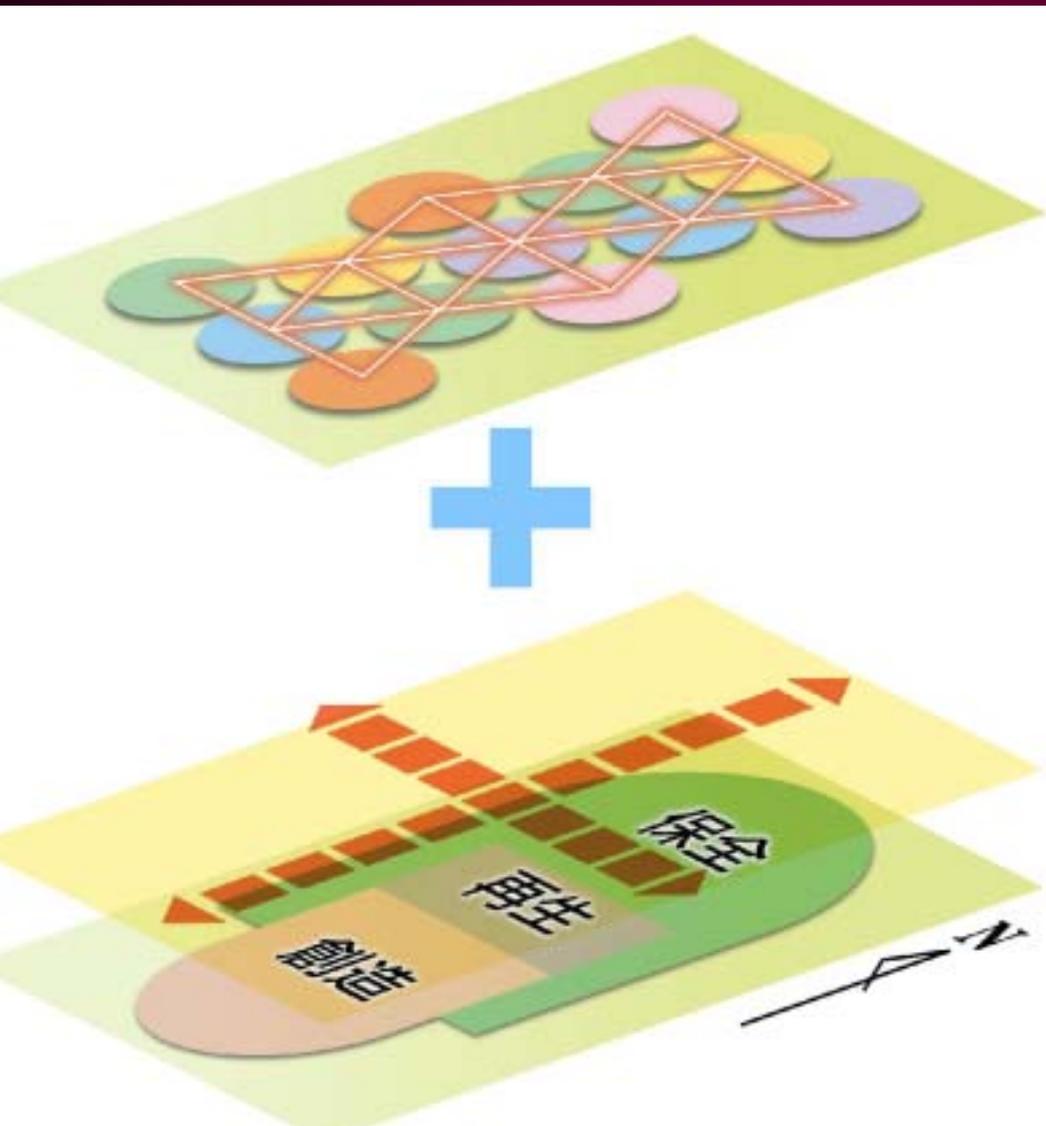
- ・長らくとどえていた学区の盆踊りを復活。江州音頭などなど。
- ・いずれは、西陣学区オリジナルの踊りを？

大文字送り火鑑賞

- ・元西陣校屋上から、大文字の送り火鑑賞。東方にマンションが立つため、在大文字の眺望は今回が最後。



-4 これからの都市計画



充実すべき都市構造

コンパクトで個性的な「地域」
がネットワークする都市構造

いかに結びつけるか

骨格的な都市構造

「保全・再生・創造」と南北
軸をはじめとする都市構造